

各 位

会 社 名 桂 川 電 機 株 式 会 社
 代 表 者 名 取 締 役 社 長 渡 邊 正 禮
 (コ-ド番号: 6416)
 問 合 せ 先 責 任 者 取 締 役 業 務 太 田 讓 二
 管 理 本 部 長
 電 話 03-3758-0181

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月18日に公表した業績予想を、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

平成23年3月期 第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正 (平成22年4月1日～平成22年9月30日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益(単位:円)
前 回 発 表 予 想 (A)	6,200	△ 680	△ 670	△ 690	△ 45.03
今 回 発 表 予 想 (B)	5,496	△ 1,067	△ 1,188	△ 1,165	△ 76.03
増 減 額 (B-A)	△ 703	△ 387	△ 518	△ 475	—
増 減 率 (%)	△ 11.4	—	—	—	—
ご参考: 前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	5,289	△ 604	△ 690	△ 792	△ 51.70

平成23年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成22年4月1日～平成23年3月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益(単位:円)
前 回 発 表 予 想 (A)	13,200	△ 770	△ 750	△ 800	△ 52.21
今 回 修 正 予 想 (B)	11,500	△ 1,800	△ 1,900	△ 1,900	△ 124.00
増 減 額 (B-A)	△ 1,700	△ 1,030	△ 1,150	△ 1,100	—
増 減 率 (%)	△ 12.9	—	—	—	—
ご参考: 前期実績(平成22年3月期)	11,339	△ 1,608	△ 1,620	△ 1,677	△ 109.50

平成23年3月期 第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正 (平成22年4月1日～平成22年9月30日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益(単位:円)
前 回 発 表 予 想 (A)	3,800	△ 600	△ 590	△ 600	△ 39.16
今 回 発 表 予 想 (B)	3,216	△ 704	△ 969	△ 975	△ 63.68
増 減 額 (B-A)	△ 583	△ 104	△ 379	△ 375	—
増 減 率 (%)	△ 15.4	—	—	—	—
ご参考: 前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	2,519	△ 708	△ 748	△ 761	△ 49.71

平成23年3月期 通期個別業績予想数値の修正 (平成22年4月1日～平成23年3月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益(単位:円)
前 回 発 表 予 想 (A)	8,700	△ 730	△ 700	△ 710	△ 46.33
今 回 修 正 予 想 (B)	7,400	△ 1,400	△ 1,600	△ 1,600	△ 104.42
増 減 額 (B-A)	△ 1,300	△ 670	△ 900	△ 890	—
増 減 率 (%)	△ 14.9	—	—	—	—
ご参考: 前期実績(平成22年3月期)	5,627	△ 1,359	△ 1,454	△ 1,517	△ 99.04

1. 業績予想の修正理由

(1) 第2四半期業績

① 連結

第2四半期連結累計期間の売上高は、世界経済の減速、市場における競合他社との価格競争の激化、長引く円高による為替の影響を受け、前回予想の62億円を11.4%下回る54億96百万円となる見込みであります。

営業利益は、前回予想の6億80百万円の損失が10億67百万円の損失、経常利益は、為替差損1億44百万円が発生して、この影響を受け前回予想の6億70百万円の損失が11億88百万円の損失、四半期純利益は、前回予想の6億90百万円の損失が11億65百万円の損失となる見込みであります。

② 個別

第2四半期個別累計期間の売上高は、国内景気の停滞、円高、価格競争の激化で、持ち直しを図るまでには至らず、前回予想の38億円を15.4%下回る32億16百万円となる見込みであります。

営業利益は、前回予想の6億円の損失が7億4百万円の損失、経常利益は、前回予想の5億90百万円の損失が9億69百万円の損失、四半期純利益は、前回予想の6億円の損失が9億75百万円の損失となる見込みであります。

(2) 通期業績

通期の連結・個別の業績予想におきましては、米国経済の減速や円高で、輸出や生産の足取りは鈍化したまま続くとみられ、また、ユーロ圏経済やアジア圏経済は停滞し、当社グループにおける事業内容は厳しさが続くものと思われまます。

このような事業環境を踏まえて、当社グループの通期連結業績予想は、当第2四半期連結累計期間の実績及び下期の為替レートを前回1ドル=90円から85円、前回1ユーロ=125円から110円と想定し、売上高は、前回予想の132億円を12.9%下回る115億円、営業利益は、売上の減少要因により、前回予想の7億70百万円の損失を下回る18億円の損失、経常利益は、前回予想の7億50百万円の損失を下回る19億円の損失、当期純利益は、前回予想の8億円の損失を下回る19億円の損失とそれぞれ下方修正しております。

通期個別業績予想につきましても、通期連結業績予想とほぼ同様の理由により、売上高は、前回予想の87億円を14.9%下回る74億円、営業利益は、前回予想の7億30百万円の損失を下回る14億円の損失、経常利益は、前回予想の7億円の損失を下回る16億円の損失、当期純利益は、前回予想の7億10百万円の損失を下回る16億円の損失とそれぞれ下方修正しております。

2 配当予想について

配当予想につきましては、公表済みの予想に変更はありません。

(業績予想に関する留意事項)

上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合がありますが、修正の必要が生じた場合には、速やかに開示を行う予定であります。

以 上